

学校給食にかかる「みえ地物一番給食の日」の取り組み

緑ヶ丘中学校

(1) 地場産物を利用した食育の取り組み

- ・ 食育授業の実施 題材「いがスマイル給食と地元食材」
- ・ 対象 緑ヶ丘中学校 1・2年 10クラス
- ・ 日時 令和5年 5月12日・16日 6月5日・6日・7日

<内容>

伊賀市では、学校給食に多くの地元食材を使用しており、以前から伊賀米コシヒカリや菜の花油を利用していた。令和2年度に「いがスマイル給食」が始まり、利用する伊賀産食材の種類や量も豊富になり、給食への利用が高まった。

しかし、生徒の認識は高いとは言えず、給食を通して伊賀産食材について理解し、郷土の良さを知って欲しいと家庭科教諭とのTT学習を計画した。

今回の学習では、当日の給食に使用されている伊賀産の食材について、特徴、獲れる時期、栄養、レシピなどを調べた後、班で交流を行った。この学習を通じて伊賀産食材のすばらしさに触れ、給食を通して郷土の理解を深めることができた。

(添付資料)

- ・ 指導案
- ・ 生徒が提出したワークシート（5月16日分）